

「つや姫」マイスター通信第1号 《平成28年度》



～「全国つや姫フォーラム2016inしまね」の報告～

2016. 8. 26

■ フォーラムの概要

7月29日（金）、出雲市を主会場に「全国つや姫フォーラム2016inしまね」を開催しました。フォーラムは今回で6回目の開催となりますが、島根県では平成25年に続き2回目となります。

「つや姫」を作付している山形県、宮城県、大分県、長崎県、宮崎県、島根県の生産者・関係者等合わせて約230名が参加し、活発な意見交換・情報交換が行われました。

今号では、そのフォーラムの様子について報告します。

現地研修

現地研修は「島根県農業技術センター⇒大田市富山町」、「大田市富山町⇒島根県農業技術センター」の2コースで実施しました。

島根県農業技術センター

全県で進めている1.9mm選別網目への切り替えに対応するため、米粒の充実化に向けた試験概要について担当研究員から説明がありました。

島根県農業技術センターでは、米粒の充実化に向け、深水管理による茎数制限、過剰生育を抑制するための肥料試験等が行われています。



大田市富山町

会場は矢田マイスターのほ場でお世話になりました。

矢田マイスターから、富山地域の概要や自身に取り組む「つや姫」栽培について説明がありました。

その他、JAしまね石見銀山地区本部からこだわり米としての「つや姫」の取り組みについて説明がありました。



室内研修

■講演「全国で進む新品種開発と「つや姫」のこれから」

(株)食料問題研究所 月刊食糧ジャーナル編集部長 鶴田 裕 氏

全国各地で新品種がデビューしておりブランド化が激化している。一方では中食・外食向けの業務用米の取扱量が増えてきており、取り組みを強化している県もある。平成30年に向け、生き残りをかけた取り組みが全国各地で始まっている。



「つや姫」はあっさりした食感で、消費者の支持も拡大している。島根県産「つや姫」は、沖縄県で高い評価を得ており、リピート率も高い。

今後、「つや姫」に求めることは、高品質であること、リピートと固定需要をしっかりと掴むことである。

■研究報告「島根県での「つや姫」のおいしさの見える化の取り組み」

島根県立大学短期大学部健康栄養学科 准教授 籠橋 有紀子 氏

「つや姫」のおいしさの見える化の研究に、平成25年度から取り組んでいる。

島根県で栽培されている主要3品種（コシヒカリ、きぬむすめ、つや姫）について外観や物性試験、食味官能試験を実施。特に「つや姫」については、他品種に比べ粘りと硬さのバランスが良好で、食味官



能試験でも各項目で優っている。

■講演「「つや姫」の販売動向と今後の展望について」

日本ブライス株式会社 取締役・専務執行役員 後藤 義和 氏



BG無洗米技術を取り入れ、全国約7,000の中食・外食企業向けに米を販売している。

それぞれの店で扱う量目に合わせ、無洗米をパッケージしている。また、炊き方マニュアルや水加減バケツなども提供し品質の維持に取り組んでいる。

島根県産「つや姫」を多く扱っているが、外食業態からの評価も高い。

業務用米でも品種・産地は重要だが、価格面も重要な要素である。

島根県産「つや姫」については、取扱量を拡大していく予定である。

■パネルディスカッション「「つや姫」の魅力と次のステージに向けて」

コーディネーター：鶴田編集部長

アドバイザー：後藤専務・籠橋准教授

パネラー：土屋 喜久夫 氏（山形県：山形つや姫マイスターの会）

板橋 慎幸 氏（宮城県：宮城県農林水産部農産園芸環境課）

勝田 達雄 氏（島根県：JAしまねくにびき地区本部つや姫マイスター）

山崎 哲 氏（大分県：大分県農林水産部地域農業振興課）

松野 善信 氏（長崎県：JA壱岐市つや姫生産部会）

藪押 睦幸 氏（宮崎県：宮崎県南那珂農林振興局）

各パネラーから概要説明の後、コーディネーターから各パネラーに特徴的な取り組み等について聞き取る形で、「つや姫」の魅力を会場の参加者で共有しました。

島根県からは、勝田マイスターがパネラーとして登壇されました。

（以下、主な意見の抜粋）

山形）山形県ではブランド米がなかった。「はえぬき」は目立つことはなかったが、「つや姫」のデビューをもって日本一のブランドとなるよう一丸となって取り組んだ。

宮城）「つや姫」は平坦部での作付を推進しており、高温の年でも品質は良好である。東日本大震災の津波被害からの復興により、担い手の規模拡大が進む中、作期分散の意味で晩生の「つや姫」は重要である。

島根）県内で1.9ミリ選別網目の導入が進む中、現場では大粒化に向けた栽培について努力している。また、マイスターは研修会に積極的に参加し情報交換を行っている。

大分）主力品種の「ヒノヒカリ」はモチモチしているが、「つや姫」はあっさりしており、若い人に好まれるようだ。見た目は「つや姫」が良い。世界農業遺産ブランド認証米につ

いて、今年産から「つや姫」で開始した。

長崎) 壱岐市で「つや姫」を栽培している生産者数は約300名である。昨年の壱岐でのフォーラムはほとんどの者が参加した。部会を通して、生産者が団結していることが強みである。

宮崎) 「つや姫」の作付地域は、早場米地帯で今年産の収穫作業も終わっている。昨年より良いものに仕上がっている。



■フォーラム宣言

フォーラムの締めくくりとして、以下の内容について宣言し、参加者で確認しました。

「全国つや姫フォーラム2016 宣言」

- ひとつ、「つや姫」生産6県が密接な連携を保ち、「つや姫」ブランドのさらなる地位向上を図ります。」山形県
- ひとつ、「安全・安心な「つや姫」栽培を実践するとともに、新たな付加価値の創造を目指します。」宮城県
- ひとつ、「つや姫」のさらなる高品質化に向け生産6県で切磋琢磨し、「つや姫」栽培技術の向上に取り組みます。」島根県
- ひとつ、「これからも消費者や実需者の期待に応えるよう、魅力に溢れた「つや姫」の振興を進めます。」大分県
- ひとつ、「つや姫」の作付を通じ、産地としての生産性向上を目指し、水田農業の活性化につなげます。」長崎県
- ひとつ、「良食味・高品質米の生産を追求し、「つや姫」を大切に育て産地の定着を図ります。」宮崎県

以上、ここに宣言する

■感想

フォーラム当日は、お忙しい中、多くのマイスターに参加いただきありがとうございました。

特に、矢田マイスターには現地研修、勝田マイスターにはパネルディスカッションで大変お世話になりましたこと感謝申し上げます。

研修では、つや姫の魅力を再認識し、今後の取り組みに向け各県の状況を確認でき、交流会では生産者・関係機関職員の親睦を深めることができました。

このフォーラムをきっかけとして、「つや姫」の作付拡大への取り組みを進めるとともに、マイスターの活動などについて、皆さんから意見等を聞きながらより良い方向を検討していく必要があると感じました。

☆「島根県ホームページでの情報提供」

「つや姫マイスター通信」と「つや姫栽培管理情報」を島根県ホームページでも掲載しています。

◆ホームページアドレス

<http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/seisan/shinkou/komesinhinsyu.html>

□ お問い合わせ

J Aしまね

米穀園芸部米穀課

〃 総合指導課

TEL: 0853(25)8691, 8696

島根県農業技術センター

技術普及部農産技術普及課

TEL: 0853(22)6967

島根県農産園芸課

水田農業グループ

TEL: 0852(22)5129